

## 大船渡発

### 春告げるイサダ水揚げ



三陸沿岸に春の訪れを告げるイサダ漁が解禁されました。イサダはエビによく似たオキアミの一種です。大船渡市魚市場には、イサダが入ったカゴで埋め尽くされた船が次々と入り、乗組員たちが威勢よく水揚げしました。イサダは冷凍や加工されたあと食用や養殖魚などのエサとして出荷されます。漁は4月いっぱい続けられます。(2/21 ニュースエコー)

## 宮古発

### 黒字化の願い込めて

3月23日のリアス線開通を前に、三陸鉄道に木彫りのキャラクター「クロジカくん」が贈られました。重さはおよそ100キロで角は本物のシカのものが使われています。「三陸鉄道を勝手に応援する会」が、厳しい経営が続く三陸鉄道の黒字化の願いを込めて寄贈しました。クロジカくんは三陸鉄道宮古駅の売店に設置されます。(2/21 ニュースエコー)



## 盛岡発

### 開幕まであと100日

県のイベント「三陸防災復興プロジェクト」の開幕まで100日となり、県庁などにカウントダウンボードが設置されました。「三陸防災復興プロジェクト」は沿岸12市町村と住田町を会場に6月1日から8月7日までの68日間の日程で開催され、震災からの復興や防災の取り組み、三陸の観光や産業・文化を国内外に発信します。(2/21 ニュースエコー)



## 盛岡発

### 三鉄リアス線の記念切手



3月の三陸鉄道リアス線開業を記念したオリジナルデザインの切手が発売されました。デザインは、四季折々の風景の中を列車が走る写真のものと、三陸鉄道の制服を着た女性キャラクター「鉄道むすめ」の復刻版の2種類です。贈呈式で達増知事は「地元の盛り上げが全国のファン獲得につながる」とPR効果に期待をよせていました。(2/25 ニュースエコー)

## 宮古発

### レジで事故防止呼びかけ

スーパーを訪れた高齢者に交通事故防止を呼びかけるキャンペーンが宮古市で行われました。買い物帰りの高齢者の事故が多くなっていることから、宮古警察署が商業施設のキャトルに委嘱しました。スーパーではレジ係が高齢者に反射材や啓発のチラシを配りながら、交通安全を呼びかけていました。(2/26 ニュースエコー)



## 大船渡発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 隔週水曜日放送)

今週は大船渡のFMねまらいんの清水健太さんが、3月1日から開催される「三陸国際芸術祭 大船渡～空に宿ル～」について話してくれました。大船渡のキャッセンで前夜祭が開かれるほか、大船渡駅前を劇場に見立ててのステージ、郷土芸能の体験会などが市内各地で開催されます。「期間中は是非、大船渡へお越しください」とのことでした。(2/27)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122